



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 大同工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6373 URL <http://www.did-daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新家 康三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業支援本部長 (氏名) 武田 良一

TEL 0761-72-1234

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	28,657	18.5	1,021	—	921	—	447	—
22年3月期第3四半期	24,187	△33.5	△912	—	△759	—	△422	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	9.50	—
22年3月期第3四半期	△8.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	49,516	17,597	27.5	289.17
22年3月期	50,271	17,798	27.5	293.64

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 13,612百万円 22年3月期 13,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	12.8	1,300	—	1,100	—	500	—	10.62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	47,171,006株	22年3月期	47,171,006株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	96,917株	22年3月期	95,882株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	47,074,645株	22年3月期3Q	47,076,346株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ1. (3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、アジア諸国を中心とする新興国の経済成長などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、長引く欧米経済の減速により、先行き不透明な状況のまま推移しました。国内におきましても、アジアを中心とした新興国の需要に支えられた輸出や生産面で回復の兆しが見られますが、恒常化する円高、デフレ状況の継続など、国内外共に依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、国内は、二輪メーカー向けのチェーン、リム等及び産業機械用チェーン、コンベヤは依然、低調に推移しましたが、四輪メーカー向けについては新機種エンジン用チェーンの量産納入の開始などにより好調に推移しました。一方、海外においては、アジア・南米等の新興国向けは、二輪車用チェーン、四輪車用チェーンを中心に順調に推移しました。欧州は二輪メーカーの生産回復により前期を上回りましたが、北米については二輪車用チェーン及びリム、産業機械用チェーンとも依然、低調に推移しました。また、更なるグローバル体制の構築、販売拡大を目的に新たにベトナム、インドに販売子会社を設立し当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,657百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は1,021百万円（前年同期は営業損失912百万円）、経常利益は921百万円（前年同期は経常損失759百万円）、四半期純利益は447百万円（前年同期は四半期純損失422百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ、受取手形及び売掛金が599百万円増加、商品及び製品が338百万円増加したものの、現金及び預金が360百万円減少、機械装置及び運搬具が759百万円減少、投資有価証券が398百万円減少したことなどにより754百万円減少し、49,516百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末と比べ、支払手形及び買掛金が425百万円増加したものの、借入金（短期借入金・長期借入金）が334百万円減少、賞与引当金が207百万円減少、退職給付引当金が395百万円減少したことなどにより553百万円減少し、31,918百万円となりました。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金が293百万円減少したことなどにより201百万円減少し、17,597百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積もりを考慮した予算を策定し、当該予算に基づく償却予定額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

② 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,590	4,950
受取手形及び売掛金	9,213	8,614
商品及び製品	2,617	2,279
仕掛品	2,347	2,185
原材料及び貯蔵品	2,253	2,005
繰延税金資産	329	428
その他	253	525
貸倒引当金	△93	△98
流動資産合計	21,511	20,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,456	5,735
機械装置及び運搬具（純額）	5,063	5,823
土地	2,750	2,785
建設仮勘定	376	358
その他（純額）	2,102	1,863
有形固定資産合計	15,749	16,566
無形固定資産		
のれん	45	81
ソフトウェア	96	119
その他	16	19
無形固定資産合計	158	220
投資その他の資産		
投資有価証券	11,181	11,579
繰延税金資産	169	251
その他	746	763
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,096	12,593
固定資産合計	28,004	29,380
資産合計	49,516	50,271

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,903	4,478
短期借入金	6,406	7,313
未払法人税等	46	32
賞与引当金	224	431
製品保証引当金	192	191
その他	2,341	2,195
流動負債合計	14,113	14,642
固定負債		
社債	4,500	4,500
長期借入金	7,378	6,805
繰延税金負債	521	633
退職給付引当金	4,314	4,709
その他	1,090	1,180
固定負債合計	17,805	17,830
負債合計	31,918	32,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,726	2,726
資本剰余金	2,060	2,060
利益剰余金	5,848	5,542
自己株式	△17	△17
株主資本合計	10,617	10,311
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,701	3,995
為替換算調整勘定	△706	△483
評価・換算差額等合計	2,994	3,511
少数株主持分	3,985	3,975
純資産合計	17,597	17,798
負債純資産合計	49,516	50,271

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	24,187	28,657
売上原価	21,143	23,558
売上総利益	3,043	5,098
販売費及び一般管理費	3,956	4,077
営業利益又は営業損失(△)	△912	1,021
営業外収益		
受取利息	20	16
受取配当金	109	127
為替差益	192	—
持分法による投資利益	54	131
その他	263	166
営業外収益合計	640	441
営業外費用		
支払利息	400	351
為替差損	—	129
その他	85	60
営業外費用合計	486	541
経常利益又は経常損失(△)	△759	921
特別利益		
固定資産売却益	2	1
貸倒引当金戻入額	7	2
特別利益合計	9	4
特別損失		
固定資産売却損	—	9
固定資産除却損	25	4
投資有価証券評価損	17	17
その他	0	—
特別損失合計	43	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△792	893
法人税、住民税及び事業税	81	71
法人税等調整額	△215	181
法人税等合計	△133	252
少数株主損益調整前四半期純利益	—	640
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△236	193
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△422	447

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。